



## 福井の名所探訪⑪

たけふ菊人形（越前市）

毎年10月上旬から11月上旬にかけて、武生中央公園で行われる菊人形である。その年のNHK大河ドラマをテーマとした菊人形の展示のほかに、愛好家による菊花展示、OSKによるレビュー、特設遊園地、その他各種イベントが行われ多くの見物客で賑わう。



## 理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

## 基本方針

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ②認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

## 患者様の権利に関する宣言

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| ①最善の医療を平等に受ける権利               | ③健康教育を受ける権利          |
| ②選択および自己決定する権利                | ⑨個人の尊厳を守る権利          |
| ③意識のない患者様および法的<br>能力のない患者様の権利 | ⑩宗教的支援を受ける権利         |
| ④患者様の意思に反する処置・<br>治療          | ⑪退院後も治療や福祉を受ける<br>権利 |
| ⑤十分な説明を受ける権利                  | ⑫より良い環境で治療を受ける<br>権利 |
| ⑥情報開示を求める権利                   | ⑯通信・面会を自由に行う権利       |
| ⑦個人情報およびプライバシー<br>を保護される権利    | ⑰退院や処遇改善の請求を行う<br>権利 |

# すこやか

講座

◆今回は認知症の方の主な事故の原因と対策についてお話しします◆



## 転落

危険と判断できず行動する / 置き勘違いして行動する / 不安 / 浅い眠り / 視力障害 / 失認

### 《対策》

- 本人のベッドから降りる時間帯、パターン、降りてしたいこと(例:水を飲みたい、トイレ、不安など)を把握し、予測される危険に合わせた対応策を練る。
- 就寝前、短時間でも会話やタッチなどで安心感を持ってもらう。
- 置きマットを活かした生活。
- 階段には照明の配慮を行う。
- 立ち入りを禁止した方が良いところには、プランターやついたてなどでさりげなく遮断する。

## 転倒

筋力、バランスの低下 / 敷居の端につまずく / 履物をきちんと履かない / 姿勢の急な変化 / 薬の副作用

### 《対策》

- 本人の身体の傾き、ぶつかり、よろけ、つま先の上がり具合、行動パターンなどの観察と状態に合わせた予防策。
- 床に落ちているものはすぐに片づける。
- 敷物の端はめくれないようにきちんと止めておく。
- 後ろから呼びかけない。
- 日中の身体を動かす機会を作り、筋力低下を防ぐ。

## 異食

失認 / 食べ物と区別がつかない / やることのない過ごし方

### 《対策》

- 危険なものは目のふれないところへ片づける。
- 本人の好物や食べても良いものをむしろ探すところに置いておく。
- 異食しているところを発見したら、その人の好きな食べ物と替えてもらう。
- 異食しやすい時間帯に仕事や楽しみの機会を設ける。

# 家族は今… from S. Y

## 母が認知症になって



「認知症」とか「介護」という言葉は、私にはまだ先のことと思っていた…。

母が認知症と診断されたのは、母が66歳、私が36歳のとき。私は小学校入学前の子がいて、かつ仕事も抱えていた。それに加えて、母の介護をこの先長く重く抱えて生きていかなければならないのかと、将来を絶望した。これから先どうしてよいのかわからず、誰かに相談したいと思ったが、「まだ若いのに認知症？」と変に思われるだろうと勝手に思い込み、そう簡単に相談はできなかった。孫を連れて散歩する他のお祖母ちゃんを見るたびに、なぜ私の母は認知症になってしまったのかと、心が苦しくなり涙が出て、母を恨んだりもした。

なぜ認知症になってしまったのだろう。そんな事ばかりを考えてしまう日々が続いた。母は15年前に父を亡くした。それからはなんとか気丈にふるまって生きてきたものの、何事も頼りにしてきた父の亡き後は、楽しみや生きる気力を徐々に失っていったのだと思う。母は寂しさや不安をまぎらわすためアルコールに頼ることもあった。母と私は別々に暮らしていたので、会うたびに母の微妙な変化に気がついてはいたが、母は長い年月をかけてゆっくりと自分を失っていったのかもしれない。

認知症の症状が顕著になり、母は自分で日常生活をすることが困難になったので当初はグループホームに入所した。しかし、そこでの生活になじめず、退所とすこやかシルバー病院での受診を勧められた。初診の日は東日本大震災が起きた数日後。病院の静かなロビーで私と母は診察を待っていた。まだ日本全体が混乱の中であり、ロビーにあるテレビでは東北の悲惨な状況と福島原発の事故の様子を伝える報道番組が延々と流れていたが、母は震災の様子など目にも入らない様子で、私に向かってただひたすら罵声を浴びせ続けていた。以前は新聞やニュースを毎日好んで見ていたのに、震災の事もわからないまでに症状が進んでしまったのかと、とても悲しく思えた。その後、母は入院させていただくこととなり、先生をはじめとするたくさんのスタッフの方々の丁寧なご指導・ケアを頂戴して徐々に落ち着いた状態となった。入院当初の面会では攻撃的な言動もあったが、約1年半たった今では、面会時に食べる甘いお菓子をとても楽しみにしている。

母が入院してから1年半の間、私は育児や仕事等、自分の平穏な生活をようやく取り戻すことができた。母の認知症は、突然発症したものではないし、長い年月をかけて進行していった。その間、本人も苦しいが家族もまた同じように苦しんできた。しかし、共に倒れてしまわないよう、なんとかより良い方法を見つけるのが家族の役目だと感じている。私は母が認知症になったことで、いろんな経験をすすることができた。もし、母が認知症にならなかつたら気付けなかったこともあり、学びや出会いもなかったと思う。

すこやかシルバー病院の皆様のおかげで、母や家族を救ってもらい、心から感謝をしています。

ありがとうございます。

## すこやか 探検隊



7月14日(土)すこやかかたろう会(家族会)が開催されました。今回は、福井大学管弦楽団の皆さんに来ていただき、すてきな演奏をしていただきました。みなさん、きれいな音色にうつとりしながら聞き入っていましたらっしゃいました。

演奏の合間には、実際に楽器にふれてみる場面もあり、患者さんはとまどいながら挑戦されていました。



## デイケアだより 7月 ☆流しそうめん&かき氷

デイケアでは初めてとなる、流しそうめんを行いました。元大工さんの男性利用者さんに、前日に竹のふし取りをしていただきました。金づちとノミの使い方は、さすがバッチャリ！

当日は、若干暑さも和らぎ、食べて・見て涼を取ることができました。また、そうめんだけでなく、利用者さんのご家族からいただいた、自家製のキュウリやトマト、果物など、いろんな具材を流して味わいました。

そうめんの後は、かき氷！男性利用者さんが、たくさん削って下さいました。いちご、メロン、ブルーハワイの3種類の味を楽しみました。



- ・そうめん
- ・キュウリ
- ・錦糸卵
- ・トマト
- ・みかん
- ・桃
- ・パイナップル



# 8月 ☆ホットケーキパフェ作り

まだまだ暑さが続くので、甘くて冷たいものを作ろうと、8月はパフェ作りを行いました。

小さめに焼いたホットケーキの上に、スイカやみかん、パインアップルにアイスクリーム、利用者さんのご家族からいただいた自家製のブルーベリーをトッピングしました。

みなさん、味見をしながら(?! )個性豊かに盛り付けされ、美味しそうに完食されました。



せ～の・・・ヨイショ！  
あ～いい色やわ

もうちょっと  
入れようかな

完成!!



## 焼きそば



## フランクフルト



## ヨーヨーフリ

人形すくい



かき氷

たまにはこういう  
のもいいねえ



なかなか  
取れりのやれ

結構取れるもんやの



あら、入った!  
お菓子がもらえるわ

縁日形式で飲食コーナーとゲームコーナーに分けて、開催しました。利用者さんやご家族のご協力もいただき、焼きそば30玉、フランクフルト50本が、あっという間に胃袋へ…皆さんに楽しんでいただけて、我々スタッフも良い思い出となりました。

# THE! 病棟

## ☆みんなの体操

運動不足は体調を壊す原因です。運動の秋だからこそしっかり身体を動かして、身も心も丈夫で健康な身体を造りましょう。

最近は、足腰を鍛える為に、歌手氷川きよしさんの「ズンドコ節」と、流行りの AKB48 の「会いたかった」を、簡単な振り付けで体操しています。



## ☆病棟自慢の菜園へようこそ

中庭を利用して、病棟では菜園を作っています。

今年も、立派な野菜が出来ました。病棟自慢の菜園を紹介します!!



育てた野菜の種類：トマト・ナス・キュウリ・カボチャ。しっかり育った野菜を収穫する時は嬉しい瞬間。収穫後は野菜を試食中!!  
ハロウィンの飾りも作りました。





今年度の

# 講演会

(福井県立すこやかシルバー病院定例講演会)



今年のテーマは…

## 「認知症を予防するために 暮らしの中でできること」

国立長寿医療研究センター 遠藤 英俊先生



[講師紹介]

1982年 滋賀医科大学卒業、1987年 名古屋大学医学部大学院修了。その後、市立中津川総合内科部長、国立療養所中部病院内科医長を経て現在に至る。老年病専門医。著書に、『認知症・アルツハイマー病がよくわかる本』(主婦の友社)、『地域回想法ハンドブック』(河出書房新社)など著書多数。

日時／平成24年11月17日(土) 13:30～15:30

会場／武生商工会館 越前市塚町101番地

TEL 0778-23-2020

●ご希望の方は…出来る限り、事前の申し込みにご協力お願いします●

申し込み

お電話または  
f a xにて  
受付けます

みなさまのご参加お待ちしています



# 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

平成24年度

## 9月に行われた一般研修のようす



福井県立すこやかシルバー病院では、一般の方、外来患者様・ご家族様を対象にした研修会を行っております。講師は、当院医師、看護師、介護福祉士、精神保健福祉士、管理栄養士、作業療法士等が務めております。参加をご希望の方は、下記連絡先までお申し込みください。お待ちしております。

### 一般の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	認知症の基礎知識と介護のポイント	11月6日(火)	午後1時30分～午後3時40分 (午後1時から受付)	●認知症の症状・分類・治療について ●認知症の人への対応のヒント	50名
2	認知症に関する制度と相談窓口	11月13日(火)	午後1時30分～午後3時40分 (午後1時から受付)	●介護保険制度について ●困った時の相談窓口	50名
3	認知症を予防しよう!	11月20日(火)	午後1時30分～午後3時40分 (午後1時から受付)	●認知症予防の基礎知識と食事 ●心も体も元気にしよう	50名

### 外来患者様・ご家族様の研修

●こちらの研修に定員はありません

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容
4	知っておきたい認知症の疾患と介護方法 ※同じ内容の研修を2回開催	11月2日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	●認知症の症状・分類・治療についてと在宅でのかかわりのポイントについて解説する
		3月1日(金)		●介護保険をはじめとする高齢者福祉制度についてわかりやすく解説する
5	知って得する社会保障制度 ※同じ内容の研修を2回開催	11月9日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	●介護の先輩から介護経験を聞く
		3月8日(金)		●家族会の役割や活動について紹介する
6	介護経験者が語る認知症介護 ※同じ内容の研修を2回開催	11月16日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	●認知症に関する疑問、悩みなど専門医に質問しアドバイスを受ける
		3月15日(金)		
7	認知症専門医に聞いてみよう ※同じ内容の研修を2回開催	11月30日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	●認知症に関する疑問、悩みなど専門医に質問しアドバイスを受ける
		3月22日(金)		

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

お問合せ

福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 Tel (0776) 98-2700

●研修案内は、新聞等への掲載(No.1～3)いたします。